



手数料の上乗せをやめて **日本共産党** 市原市のようにレジ袋を指定袋に

日本共産党のアンケートでは7割の方が「高い」



袖ヶ浦市は3年前の7月から、ゴミ処理手数料を上乗せした指定ゴミ袋制をスタートさせました。

日本共産党が今年の夏に実施したアンケートでは、袖ヶ浦市のゴミ袋について7割の方が「高い」「引き下げて」と回答し、「姉ヶ崎のスーパーのレジ袋が指定袋だった。袖ヶ浦でもできないか」と言う声も寄せられています。

お隣の市原市では、昨年からスーパーのレジ袋も指定袋になり、ゴミも減るし、もちろん無料ですから市民は大助かりです。

ごみ減量は市民や業者の協力でこそ

市は「有料化でゴミの量が減った」と言っていますが、行政としてゴミを減らすまともな努力もないまま有料化を押しつけるやり方では、市民の理解は得られません。

お隣の市原市では、スーパーや生協でごみ減量やリサイクルを推奨する「エコシヨップ」認定制度などもあり、市民や業者の協力を得てゴミを減らす工夫と努力をしています。

市民のくらし優先の袖ヶ浦市を

日本共産党の2議席で積極提案

袖ヶ浦市は成田市、浦安市につづいて県下で三番目の財政力をもちながら、市民サービスは削り、負担を増やした結果、市のため込み金は百億円にも達しています。「豊かさが実感できない」と言う声も当然ではないでしょうか。

日本共産党が2議席を獲得すれば、ゴミ袋代の引き下げや、レジ袋を指定袋にする提案も、日本共産党単独でも行えます。



市議会議員
あきば光枝
みなさんの願い実現のためがんばります

総額200億円という、過大でムダな「袖ヶ浦駅北側開発」の凍結・見直しの提案や、全国でも有数の財政力を、市民のために生かすために全力を尽くします。

要望書

袖ヶ浦市長 小泉義弥 様

一、ゴミ袋への手数料上乗せをやめ、レジ袋も指定ゴミ袋にしてください。

お名前		ご住所		お電話	

お電話いただければ伺います。60-2630

袖ヶ浦民報10月号外

日本共産党袖ヶ浦市委員会の政策と活動をお知らせします。 0438-60-2630